

## 勢和多気国際クロスカンントリー大会 (UCI-1.3)

BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM 齊藤 亮

+++++

大会名：Coupe de Japon MTB CJ-1 富士見パノラマ大会

期日：2015年10月4日（日）

会場：勢和の森マウンテンバイクパーク（勢和台スポーツ公園内）

天気/気温：曇/晴 28℃

競技種目：男子エリート 4.8 km x 6 Laps

結果：6位

Web：http://cycling-taki.com/

+++++

シリーズ第4戦の舞台は三重県多気町にある勢和の森マウンテンバイクパーク。昨年度はシリーズ戦のJ2カテゴリーだった勢和多気大会は今年からUCIクラス3に位置付けられ、国内でもUCIポイントを獲得出来る貴重な大会となった。海外遠征(AUT)での経験と反省を踏まえ、残りの国内シリーズを全勝する気持ちと意気込みで今大会を迎えた。昨年行われたこの勢和多気大会(J2)を欠場しているため、初めて訪れたレース会場となる。今大会からUCIレースになったこともあり、コースを世界基準で作りに上げ難易度が高いと噂されていた通り、走り応えがあり、各セクションを攻略するのも楽しみの1つに思えた。国内レースでは珍しく幅2m程のキャニオン、斜度45度の崖(通称:猪落し)、石清水と言われるロックセクション、落差1m程あるドロップオフなど、テクニックとスキル、そして“経験”が何より大事になってくる。

レース2日前からコース試走を行い、ポイントとなるセクションを反復し、リスクの少ないよう機材のチョイスに時間を費やした。前日の試走ではある程度レースを想定し、コース全体のイメージを頭に叩き込み、要所をレーススピードで走り込む。しかし、レースペースで攻めると下りのキャンバーでホイールからタイヤが外れてしまう……。ブースに戻り、タイヤ交換して再トライするも、またもやタイヤが外れて落車するアクシデント……。どうにもこうにもイメージが悪い。自分の技量が足りないのか、タイヤとホイールとの相性が悪いのか……。色々と考え込んでしまったが、ある程度空気圧を上げることでリスクを回避する決断をした。冷静になる部分とある程度勢いが必要な部分を自分の中でしっかりと判断し、悔いのない選択を決断した。

レース当日。いつも通り早朝40分のリカバリーライド。身体をチェックすると共に、レースに向けて気持ちを高めていくのもこのライドの目的。ホテルに戻り、シャワーを浴びて朝食タイム。いつものルーティンでいつも通りの時間を贅沢に過ごす。レース1時間半前に会場入り。スタッフやサブライヤーと入念な打ち合わせと準備を行い、スタンバイ完了。

男子エリートは定刻通り12時45分スタート。号砲と共に良い反応でスタートし加速していく。1周目序盤から3名の選手が少し先行するカタチでレースを進め、落ち着いて4番手で差を詰めていく。ライバル選手の動きを見ながら、消極的になり過ぎないようにレースを進め、2周目に入るところで先頭パックに合流。さほど呼吸も乱れることなく、脚の調子も悪くない。落ちて着

いた状況で周りの動きを把握出来ている。2周目に入り1名の選手がパックから脱落。自分を含む3名パックとなりレースが進み、チームメイトの沢田選手が積極的に先頭を牽く。しかし、キャニオンを越えた後の登り返しの段差で沢田選手が痛恨のパンクで後退。その後すぐの右カーブのキャンバーで自分もリアタイヤをパンクさせてしまった……。テックゾーンを過ぎた辺りでのパンクだったため、次のテックゾーンまでの2.5km程の距離をバイクを押して走りまくった。前日から気を付けなくてはいけないポイントと分かっていたものの、同じ場所でパンクさせてしまった……。まだレースは序盤だったため、悔しさとイライラを抑えてテックゾーンに戻り、スタッフが迅速にホイールを交換してくれりスタート。トップからは約4分30秒の差が付いてしまい、順位も35位前後まで後退した。ここからは何も考えずひたすら前だけを見て追い込み続ける。順位やトップとのタイム差なんて気にせず、自分の限界まで追い込む走りを心掛け、ゴールまで集中して走り切った。結果的にトップから約2分30秒遅れの6位でのフィニッシュ。

身体の調子が良かっただけに、悔しさと虚しさが入り混じった感情をうまくコントロール出来ない自分がいた。結果は結果として受け止め、次戦に向けての対策をしっかりと行いたいと思う。追い込んでいるときの冷静な判断、ラインのチョイスなど、細かい部分がまだまだ未熟なのが露骨として表れた今レース。色々な課題と弱点があることに気付かされ、個人としてもチームとしても良い流れで結果を残すことが出来ずに悔しさが滲む。また気持ちを切り替えて次戦の石川県白山一里野大会に向けて準備を進めていきたい。

いつもたくさんの応援、サポート本当にありがとうございます。これからも自分らしく熱い走りができるよう一生懸命頑張ります。今後とも応援よろしくお祈りします。



### 【リザルト】

1. 門田基司 愛媛県/ TEAM GIANT
2. 平野星矢 長野県/ BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM
3. 松尾 純 長野県/ MIYATA-MERIDA BIKING TEAM
4. 中原義貴 大阪府/ BH RACING MTB TEAM
5. 佐藤誠司 埼玉県/
6. 斉藤 亮 長野県/ BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM

## 【使用機材】

バイク：ANCHOR / XR9 (S サイズ)

コンポーネンツ：SHIMANO / XTR Di2(FC-M9000-2) 36T-26T

ホイール：SHIMANO / XTR WH-M9000-TL-27.5

シューズ：SHIMANO / SH-XC90

ペダル：SHIMANO / PD-M9000

ハンドル：SHIMANO PRO / THARSIS

ステム：SHIMANO PRO / THARSIS

シートポスト：SHIMANO PRO / THARSIS

フロントフォーク：SR SUNTOUR / AXON-WERX-RC-RL-RC AH CTS 27.5/100MM

タイヤ：SCHWALBE / THUNDER BURT (27.5×2.25)

サドル：fi'zi:k / TUNDRA2

ヘルメット：KABUTO / ゼナード(アンカースペシャルモデル)

サングラス：adidas eye wear / evil eye halfrim pro / グレイメタリック

ケミカル：HOLMENKOL

チェーン：ルーベエクストリーム、 ダートプロテクター

フレーム：スポーツポリッシュ、 アクアスピード

クリーナー：ルフトチェーンクリーナー、ルフトコグブラシ、ライニガー、スポーツ  
クリーン、バイクウォッシュ、クリーナー8in1

ウェア、シューズ：ハイテクプルーフ

サングラス：ノーフォグ

時計メーター：SUUNTO / AMBIT2S

ネックレス：SEV

ドリンク：SAVAS (株式会社明治)

サプリメント：SAVAS (株式会社明治)

レースウェア：WAVE ONE

レースグローブ：KABUTO / PRG-3

アンダーウェア：CRAFT

インソール：SUPER feet / Black

アパレルウェア：Columbia

ザック：deuter

テーピング：New-HALE